

研究分野 3：地域の特産品づくり 4. 地域の自然・生物・植物の観察・研究

研究テーマ 地域と連携した五郷学習の推進

熊野市立五郷小学校

はじめに 五郷学習について

五郷小学校では、五郷の主な産業について体験的に学習することにより、郷土に対する理解を深めるとともに、自分自身のアイデンティティとしてこれからの人生の礎となるよう「米作り体験」や「お茶摘み体験」等を実施しています。本体験活動は、「ふるさと創生実行委員会」及び地域の皆様のご協力をいただいております。コロナ禍においては、5・6年生の社会科及び総合的な学習として5・6年生が体験学習を行っていましたが、今年度は、田植え体験を全校児童で実施しました。

お茶摘み体験・ホタルの学習について

5月2日（火）お茶摘み体験・工場見学（1・2年生）

1・2年生7名がお茶摘み体験・工場見学を行いました。今年度も吉田さんと「いさとお茶クラブ」の方々にお世話になりました。

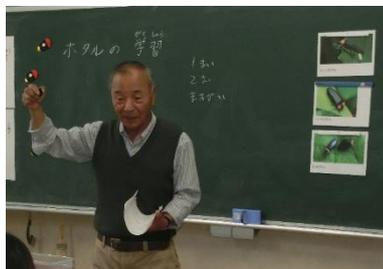
子ども達は、吉田さんから黄緑色の柔らかい葉を摘むことを教わり、15分程お茶摘みを行いました。お茶摘みの後、工場に移動しました。工場では機械を使った「煎る作業」や「もむ作業」を見学させていただきました。吉田さんよりお茶をいただき、給食時のお茶として美味しくいただきました。



6月2日（金）ホタルの学習3・4（年生）

吉田さん（大井谷区長）に来ていただいて、ホタルの保全活動についていろいろと教えていた

できました。子ども達は、ホタルは 1 年間しか生きられないことや、ホタルが幼虫であるカワニナに毒をさして食べるということを聞いて驚いていました。また、7 月には広島県安芸郡熊野第二小学校との交流学習会の時に、ホタルの学習で学んだことについて発表しました。



米作り体験について

令和 5 年 5 月 8 日 田植え

5 月 8 日（月）に全校で田植えを行いました。今年度も「ふるさと創生実行委員会」の大橋さんや五郷婦人会有志の方々にご指導いただきました。

今年度は、全校児童 19 名で学校の近くにある田んぼに出かけました。田んぼの中に入るのが初めての子も多く、ドキドキしながら田植えが始まりましたが、慣れてくると大胆に苗を植える姿がたくさん見られました。5・6 年生は、田植えの経験が何度かあるので、手際よく植えていました。また、低学年の子にアドバイスをする姿がみられました。





令和5年6月15日 田かき（たぐるまでまくす）

6月15日（木）に5・6年生6名で田かきを行いました。今回も「ふるさと創生実行委員会」の大橋さんや奥田さん、五郷婦人会有志の方々に指導していただきました。

6年生の3名は、昨年度も田かきをやったことがあるので、力強く田ぐるま（水田中耕除草機）を押し、何往復も田かき作業をすることができました。初めて田かき体験をする5年生は、大橋さんに教えていただいたことを守りながらゆっくり作業を進めていました。



令和5年9月7日

9月7日(木)に5・6年生6名で稲刈りを行いました。今回も「ふるさと創生実行委員会」の大橋さんや奥田さんに指導していただきました。

6年生の3人は、昨年も経験しているので周りに注意しながら、上手に稲を刈りとっていくことができました。5年生の3人は、以前に稲刈りをした経験を思い出しながら、大橋さんたちに指導していただき、次々と稲を刈りとっていきました。

刈りとった稲は、畔に持ちやすい量にまとめておきました。ある程度たまってきたら、稲の束を機械のところへもっていき、脱穀作業を体験させていただきました。お米のついた稲を機械に通していきながら、上手に脱穀されていくことに感動していました。

田植えから始まり、田かき、稲刈りと大変な作業でしたが、自分たち以上にいろいろお世話をしていただいた方々のおかげで、たくさんお米がとれたことを喜び、感謝していました。

令和5年9月21日「いさとの光」 お米の贈呈式

五郷学習(米づくり)の集大成として9月21日にお米の贈呈式を行いました。「ふるさと創生実行委員会」の大橋さん(代表)、奥田さん、五郷婦人会有志の久保さんより児童全員にお米「ホタルの光」をプレゼントしていただきました。このお米は、五郷小学校の5・6年生が大橋さんの指導のもと故・中田敏也さんの田んぼを使わせていただき、5月8日に田植え、6月15日に田かき、9月7日に稲刈りをしたものです。今年度の田植えは全校児童で行いました。

贈呈式では児童を代表して奥田凜さんと倉前仁朗さんが御礼を述べました。その後、森岡峻徳さんが米作り体験について綴った作文を大橋さんにお渡ししました。

五郷の主要な産業である米作りについて、子ども達が実際に体験させていただくことで、理解を深めることができました。子ども達には近い将来、地域の産業の担い手としてこの地で活躍してもらいたいです。



地域と連携した五郷学習を通して

(児童の感想)

たくさんの活動を通して、お米を作ることの大変さを知り、いつも当たり前食べていたお米がこんなにたくさんの人のおかげで食べることができるということに気づき、感謝の気持ちをもつことができた。給食など残さずに食べようという意識をもつようになった。

おわりに

本校では、米づくり体験やお茶摘み体験等を通して、郷土に対する理解を深めるとともに「勤労の尊さ」及び「食へ感謝する気持ち」を養ってきました。今年度はコロナ禍も開け、久しぶりに全校児童での田植え体験を行うことができました。

また、6月中旬には、昔の道具を使って田の草取りを、9月初旬には稲刈りを高学年が体験した。どの活動においても、ふるさと創生実行委員会や婦人会有志等の地域の方等に指導・協力していただき、ふれあいながら体験活動をすることができました。

これからも、地域の米づくりを伝承するとともに、未来の地域の担い手を育てていくためにも、地域と連携した活動に継続して取り組んでいきます。